

有限会社サンファーム（盛岡市）

経営概要：サクランボ、りんご等果樹及び水稻を約13ha栽培。

観光農園、ジャム等の加工も行っている。従業員数7名（H26.3時点）。

[6次産業化総合化事業計画について]

テーマ：ブルーベリー等を活用したオリジナル商品の開発・販売及び”旬”
食材の通年提供の実現

事業概要：自社生産の加工向けサクランボ、ブルーベリー、りんご等を利用したジャム、乾燥りんご、コンポートの開発、加工と、アイスクリームやロールケーキの加工委託を行うとともに、保存設備の整備により果実の長期保存・通年供給体制を構築し、小売店への卸の他、直売、インターネット通販による加工品の通年販売を行うことにより、長期的な事業の成長を目指す。



①取組の経緯

- サクランボ等の観光農園を主事業にしていた。生産物については加工用の農作物が中心となっていた。
- 今までは原料供給のみであったが、加工を行うことで商品の提案力を高めたいと考えた。
- そこで、自社の農産物を原料とする商品開発を行う6次産業総合化事業計画を策定し、平成24年2月に認定を受けた。

②課題

- 新商品を開発の都度ラベルを生産していたので、全体の統一感が無かった。また、観光農園と生産物を組み合わせたPRパンフレットを作成していなかった。
- このことから、ラベルなどのデザインに統一性を持たせ、商品のブランディングを進めること、また商品を効果的にPRするパンフレットの必要性を感じるようになった。

③課題解決の方法

- 6次産業化プランナー派遣事業を活用し、パッケージやパンフレットデザインのブラッシュアップを行い、デザインに統一感を持たせた。
- 商品を効果的にPRするパンフレットの作り方について指導を受け、新たに作成。



ブラッシュアップしたコンポートのラベル



商品の特徴がわかりやすく示された新パンフレット

④取組の効果

- 新たに作成したパンフレットは、各商品の特長を分かりやすくしたので、効果的にPRができるようになった。
- 雇用人数が4名から7名に増加（平成26年12月時点）。
- 売上高は、計画申請時に比べ約10%程度アップしている。

⑤取組のポイント

- 加工用に特化した農産物を生産
→一般的な果樹ではなく、加工用に特化した品種を選択することで他との差別化を図った。
- デザインのブラッシュアップ
→これまで統一感の無かったラベルデザインを一新し、当社商品のイメージを統一化させた。
- 総合化事業計画の認定による知名度の向上
→総合化事業計画の認定後、助成金等のサポートが受けられるようになった他、販売会・商談会等の様々なイベントに声をかけられるようになり、取引機会が増えた。